



夢に向かって



学校教育目標 【郷土に誇りを持ち、未来を拓く心豊かな子どもの育成】

合志市立合志南小学校
学校だより 第6号
令和6年 6月18日
文責 校長 土井昭子

校内人権旬間の取組① 6月10日～6月28日

令和6年度前期の校内人権旬間は、「なかまづくり」の視点で取り組みます。日頃のなかま、班のなかま、学級のなかま、そして合志南小のなかま。一人ひとりが安心して過ごせるなかまとなるよう、授業の他にもいろいろな取組をしていきます。子どもたちの自主的な活動として、人権委員会の子どもたちが、「ふわふわ言葉を増やし、いじめをなくし、声をかけあう 楽しい学校」という目標を立ててくれました。そして、全校児童に「ありがとうの列車」の取組を提案しました。

〈提案〉友だちや先生に伝えたい「ありがとう」の気持ちをカードに書いて、列車の中に貼ってください。ありがとうの気持ちがあふれる合志南小になるといいなと思います。ご協力よろしくお願ひします。みんなが書いてくれた「ありがとう」を紹介していきます。



早速、列車に貼っている人もいました。慌ただしい日常の中で、「ありがとう」と思ってもついつい言えずに過ぎてしまうこともあります。あらためて「ありがとう」を伝えるチャンスです。どんな「ありがとう」が集まるか楽しみです。人権委員さんたち、素晴らしい取組を「ありがとう」。



「人権の花」運動に取り組みます

人権の花運動（法務省の活動）とは、子どもたちが協力し合いながら花を育て、その生長を観察することによって豊かな情操を育むことをねらいとしています。相手の立場を考え行動する心や思いやり心、生命の尊さ、感謝の気持ちを体得する人権尊重の意識を育みます。



「人権の花」伝達式

今年度、合志南小全児童で人権の花運動に取り組みます。6月12日小学校体育館で人権の花伝達式があまりました。合志市教育委員会から中島教育長、阿蘇大津支局から野村さん、合志市人権啓発教育課や合志市人権擁護委員の方々、そして、人けんまもる君と人けんあゆみさん（マスコット人形）も来てくれました。児童代表で、本校の人権委員会のみんなが委嘱状や花（マリーゴールド）や花を育てる道具など受け取りました。子どもたちの立派に受け取る姿や、話をしっかり聞く姿に、伝達式来られた方々から次のように感想をいただきました。

子どもたちは、話をしっかり聞いてくれて嬉しかったです。反応がとてもいいですね。すばらしい。

マスコット人形を喜んでくれてよかった。まもる君もあゆみさんも応援しています。

久しぶりに、たくさん子どもたちに会いました。子どもたちから元気ももらいました。私もまだまだ頑張ります。

児童代表宣言は立派でした。子どもたちの心も花いっぱい！



花を大切に育てていきます

